

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 1 部門第 1 区分

【発行日】平成23年5月19日 (2011.5.19)

【公表番号】特表2010-523083(P2010-523083A)

【公表日】平成22年7月15日 (2010.7.15)

【年通号数】公開・登録公報2010-028

【出願番号】特願2010-501025(P2010-501025)

【国際特許分類】

C 1 2 N 5/10 (2006.01)

A 6 1 K 35/14 (2006.01)

A 6 1 P 37/02 (2006.01)

A 6 1 P 37/06 (2006.01)

A 6 1 P 35/00 (2006.01)

A 6 1 P 31/00 (2006.01)

A 6 1 P 31/12 (2006.01)

A 6 1 P 31/04 (2006.01)

A 6 1 P 31/10 (2006.01)

A 6 1 P 33/00 (2006.01)

A 6 1 P 33/02 (2006.01)

A 6 1 P 31/20 (2006.01)

A 6 1 P 31/18 (2006.01)

A 6 1 P 31/16 (2006.01)

【 F I 】

C 1 2 N 5/00 1 0 2

A 6 1 K 35/14 Z

A 6 1 P 37/02

A 6 1 P 37/06

A 6 1 P 35/00

A 6 1 P 31/00

A 6 1 P 31/12

A 6 1 P 31/04

A 6 1 P 31/10

A 6 1 P 33/00

A 6 1 P 33/02

A 6 1 P 31/20

A 6 1 P 31/18

A 6 1 P 31/16

【手続補正書】

【提出日】平成23年3月30日 (2011.3.30)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

抗原と結合する受容体、及び外因性の副刺激リガンドとを含有してなる、免疫応答性細胞。

【請求項 2】

副刺激リガンドが、構成的又は誘導的に発現される、請求項 1 に記載の免疫応答性細胞。

【請求項 3】

少なくとも 2 つの副刺激リガンドが、構成的に発現される、請求項 2 に記載の免疫応答性細胞。

【請求項 4】

副刺激リガンドが、T 細胞の表面に構成的に発現される、請求項 2 又は 3 に記載の免疫応答性細胞。

【請求項 5】

副刺激リガンドが、レトロウイルスベクターで発現される、請求項 1 ~ 4 のいずれか一項に記載の免疫応答性細胞。

【請求項 6】

副刺激リガンドが、腫瘍壊死因子 (TNF) リガンド又は免疫グロブリン (Ig) スーパーファミリーリガンドである、請求項 1 ~ 5 のいずれか一項に記載の免疫応答性細胞。

【請求項 7】

TNF リガンドが、4 - 1 B B L、OX 4 0 L、CD 7 0、LIGHT、及び CD 3 0 L からなる群より選択される、請求項 6 に記載の免疫応答性細胞。

【請求項 8】

Ig スーパーファミリーリガンドが、CD 8 0 及び CD 8 6 からなる群より選択される、請求項 6 に記載の免疫応答性細胞。

【請求項 9】

副刺激リガンドが、TNF リガンド及び Ig スーパーファミリーリガンドである、請求項 1 ~ 5 のいずれか一項に記載の免疫応答性細胞。

【請求項 10】

TNF リガンドが 4 - 1 B B L であり、Ig スーパーファミリーリガンドが CD 8 0 である、請求項 9 に記載の免疫応答性細胞。

【請求項 11】

抗原が、腫瘍抗原又は病原体抗原である、請求項 1 ~ 10 のいずれか一項に記載の免疫応答性細胞。

【請求項 12】

抗原が、前立腺特異的膜抗原 (PSMA)、癌胎児抗原 (CEA)、IL 1 3 R、her - 2、CD 1 9、NY - ESO - 1、HIV - 1 Gag、Lewis Y、Mart - 1、gp 1 0 0、チロシナーゼ、WT - 1、hTERT、及びメソセリンからなる群より選択される、請求項 1 ~ 10 のいずれか一項に記載の免疫応答性細胞。

【請求項 13】

抗原と結合する受容体が、T 細胞の表面に構成的に発現される、請求項 1 ~ 12 のいずれか一項に記載の免疫応答性細胞。

【請求項 14】

抗原と結合する受容体が、P z 1 もしくは P 2 8 z である組換え抗原受容体又は内因性抗原受容体である、請求項 1 ~ 13 のいずれか一項に記載の免疫応答性細胞。

【請求項 15】

免疫応答性細胞が、T 細胞、ナチュラルキラー (NK) 細胞、細胞傷害性 T リンパ球 (CTL) 及び調節性 T 細胞からなる群より選択される、請求項 1 ~ 14 のいずれか一項に記載の免疫応答性細胞。

【請求項 16】

CD 8 0、4 - 1 B B L、OX 4 0 L、CD 7 0 及び CD 3 0 L からなる群より選択されるポリペプチドをコードするベクターを発現する、ウイルス特異的 T 細胞。

【請求項 17】

ウイルス特異的 T 細胞が、サイトメガロウイルス (CMV)、エプスタイン・バーウイルス

イルス（EBV）、ヒト免疫不全ウイルス（HIV）及びインフルエンザウイルスの抗原からなる群より選択されるウイルスを認識する、請求項 16 に記載のウイルス特異的 T 細胞。

【請求項 18】

CD80、4-1BBL、OX40L、CD70 及び CD30L からなる群より選択されるポリペプチドをコードするベクターを発現する、腫瘍抗原特異的 T 細胞。

【請求項 19】

腫瘍抗原特異的 T 細胞が、CD80 及び 4-1BBL を発現する、請求項 18 に記載の腫瘍抗原特異的 T 細胞。

【請求項 20】

ベクターが、レトロウイルスベクターである、請求項 18 又は 19 に記載の腫瘍抗原特異的 T 細胞。

【請求項 21】

請求項 1～20 のいずれか一項に記載の細胞を含有してなる、腫瘍、病原体感染、自己免疫障害又は同種移植に関連する症状を治療するためのキット。